

関係諸法 学習指導要領 東京都・奥多摩町教育目標	
奥多摩町学校教育の指導目標 ～通いたい、通い続けたい、通わせたい学校へ～	
○確かな学力 1 個に応じた指導の徹底 2 主体的・対話的な深い学びの推進 3 外国語教育の推進 4 ICT機器を活用した授業づくり 5 保・小・中の一貫性のある指導の推進 6 家庭学習の充実 7 読書活動の推進	○豊かな心 1 自他を大切にすることの育成 2 自尊感情・自己肯定感の向上 3 いじめ、不登校の未然防止、組織的な対応
	○健やかな体 1 心と体の健康の促進 2 適切な食習慣、運動習慣の定着化

学校教育目標
確かな学力と自信をもち積極的に人とかかわる児童の育成 激しく変化する社会に主体的に対応できる人(豊かな心と自ら学ぶ意欲、地域社会の一員としての自覚)をめざして
いのちを大切に共に輝き 生きていこう
○かしこく……学ぶ楽しさを知り、学びを生活に生かす
○なかよく……人と心を通わせ、人のために自分の力を生かす
○たくましく……健康で丈夫な体と、健やかで豊かな心をもつ

○家庭・地域の期待や願い ・生きる力・確かな学力の育成 ・地域を愛する心の育成
○期待される児童像 ・学び合い、高め合う子
○児童の実態 ・明るく積極的、やさしい、仲がよい ・人間関係の固定化 ・個別の配慮事項の増加

<<学校経営方針>>

目指す学校像
○児童が自信をもち、夢に向かってより良く生きる力を高める学校 ・学びの学校 : 主体的・対話的で深い学び、児童のわかる喜び、気付きを大切に ・楽しい学校 : 個々の良さを伸長、主体的な活動の重視、自尊感情の高揚、支え合う仲間づくり ・出会いの学校 : 心が通うかわり、「人」や「学び」との出会い、「ふるさと」を思う心

目標達成に向けての課題		
「かしこく」に関して	「なかよく」に関して	「たくましく」に関して
◎学ぶ楽しさを知り、生活に生かす力の育成 ○学び方スキル・問題解決スキル ○基礎的・基本的知識・技能の習熟 ○考えを広げ深める力 ○多面的・多角的な思考・判断・表現力 ○郷土、異文化理解を深める出会いの設定 ○保・小・中の指導の一貫性	◎人と心を通わせ、自分の力を生かす態度の育成 ○美しさや善さを求める心 ○正しく判断し行動する力 ○自他の尊重・共感性、自尊感情と自己肯定感 ○思いやりの心、違いを認め支え合う態度 ○協力・協働・社会性のスキル ○コミュニケーション力	◎丈夫な体で、ともにより良い生活を築く力の育成 ○健康・安全に対する意識と知識・技能 ○体力の向上に対する意識と態度 ○自立・自律・伸長への意欲
◎学校の教育力の向上 ・指導力向上:自己研修・相互研鑽・OJT推進 ・組織力向上:情報の共有、課題解決		◎連携・協働の推進 ・効率的・効果的組織運営 ・家庭・地域との協働・連携

中期的目標		
「かしこく」に関して	「なかよく」に関して	「たくましく」に関して
○課題解決型学習を進め主体的な探求力を高める ○習熟機会の確保と個に応じた習熟指導の工夫 ○コミュニケーション力、思考力、深め合う力の向上 ○情報活用能力、英語力などの資質・能力の育成	○人権尊重教育を基盤とした教育活動の充実 ○児童の主体性を生かす特別活動の推進 ○多様な集団活動・体験活動の展開 ○個に応じた指導・支援の工夫	○健康・安全指導の充実 ○体力・運動技能の向上 ○教育相談体制の充実
○教職員個々の指導力と学校の教育力の向上 ○小・中一貫した育成する資質・能力の共有 ○家庭・地域との連携		

今年度の目標及び教育活動 ～ 学びを支える共育「チーム古里」～		
「かしこく」に関して	「なかよく」に関して	「たくましく」に関して
●全児童が主体的に学び、学ぶ喜びを味わう授業 ○ユニバーサルデザイン授業(焦点化、視覚化、共有化) ○課題解決型授業(課題把握・見通し・自力解決・学び合い・ふりかえり・まとめ) ○系統的指導(資質・能力、見方・考え方の意識) ○思考力・判断力・表現力を高める指導(多面的・多角的な見方・考え方の育成、学び合い等言語活動の充実、プログラミング教育の推進) ○基礎的・基本的な内容の定着(ベーシックドリル・eラーニング、検定等の活用) ●一人一人に合った学びの場の充実 ○ニーズに応じた学習指導(習熟度別・TT指導、サポート教室、教育支援員・SC・SSWとの連携) ○情報活用能力の育成 (ICT教育推進) ●言語文化を味わう授業の充実 ○日本語の豊かさに触れる言語感覚の育成(全校音読、詩の暗唱、落語教室、美しい日本語教室等) ○読む力の育成(学校図書館・学級文庫の充実、親子読書旬間の実施) ○書く力の育成(書くことの習慣化)	●人権教育・キャリア教育の推進 ○自他を尊重する心と態度を育てる人権教育(挨拶運動、人権課題への取組、人権尊重の視点からの環境整備、福祉体験、高齢者施設訪問) ○自らの価値を感じ、夢を育むキャリア教育(道徳科授業の改善、主体性を生かす特別活動・ゲスト授業) ○違いを認め合う多様な集団活動(縦割り班活動、ロングタイム遊び、児童会行事、全校遠足) ●パラリンピック教育の推進 ○進んで人とかわり、自他を尊重する態度の育成(パラリンピア授業) ●国際理解教育の推進 ○進んで人とかわり、異なる文化や価値を認め合う態度の育成(外国語学習の充実、バイロンベイ高校生交流、ジェシ検等)	●体力向上 ○運動に親しみながら、進んで体力づくりに取り組む態度の育成(体育授業改善、縄跳び・マラソン旬間等) ●心身の安全と健康 ○健康で安全な生活習慣を身に付けようとする態度の育成(食育、足育、ノーメディア旬間) ●オリンピック教育の推進 ○体験や活動を通し、子供たち一人一人の心と体に人生の糧となるレガシーを残す(オリンピア授業、コリンピック) ●相談体制の充実 ○児童が相談しやすい環境作り(相談体制の整備と周知)
●校内組織力の向上 ○良質な学校の気風の醸成(挨拶、自他の尊重、知的探究、相互研鑽、協働) ○組織力の向上(主幹・主任教諭を中心に学校運営体制の充実、確実な報告・連絡・相談、PC活用による、効率的な運営の推進、計画的な予算執行) ○教職員の指導力向上(持ち味を生かした指導の展開と相互協力、支え合い、自己研鑽、校外研修会への参加、ミニ研修会、OJTの推進、キャリアアップ) ○特別支援教育の充実(特別支援学級・特別支援教室の充実、支援を要する児童への適切な支援の充実、SC・SSWとの連携) ○学校の指導力向上(児童理解と指導方針の共有、6年間の系統的指導、校内研究・研修の推進、興味・関心を喚起する環境整備)	●家庭・地域との連携・協働 ○体験、交流学習の系統的展開(多彩な体験学習、探究的なフィールドワーク、6年間を通じ我が国・郷土の自然・文化・生活等に親しむ教育による郷土を愛する心の育成) ○保・小・中の連携(スタートカリキュラムを基にした古里保育園との交流、奥多摩中学校の出前授業や体験授業の実施) ○家庭・地域と一体となった学校づくり(コミュニティースクールとして家庭・地域と目標の共有、地域人材と郷土教材の活用、地域社会に貢献する児童の育成) ○生活・学習習慣の改善(親子読書・ノーメディア旬間の実施) ○児童の安全・安心の確保(関係諸機関と連携した組織的な対応)	
●学校における働き方改革の推進 ○教職員の健康増進(勤務状況の把握、定時退勤の推奨) ○教職員が児童と向き合う時間及び教材研究をする時間の確保(校務の精選及び改善、効率化の推進)		

平成31年度の取組

○新学習指導要領の完全実施に向けた準備

- ・教育活動ごとに資質・能力の焦点化を図る。
- ・体験活動を重視した本校の特色ある教育活動を、児童の実態及びカリキュラムマネジメントの視点から見直し、精選・改善・創造・系統化を進める。
- ・評価の観点の変更に伴い、年間を通して指導のねらいも含めた年間指導計画、通知表などの改訂を進める。

○学習指導の充実

- ・「気づきを大切にしたい課題解決型、探求型学習」を学習指導のスタンダードとする。
- ・「課題把握」「自力解決」「深め合い」「ふりかえり」を重視し「主体的、対話的で深い学び」につなげる。
- ・校内研究を柱に全教科で、全児童が学習に主体的に参加し、分かる「授業のユニバーサルデザイン化」を進める。
- ・校外研修の参加を奨励し、研修成果を校内に還元させる。OJT コーナー等、日常的な OJT を推進する。
- ・基本的な言語や計算技能は、引き続き家庭の家庭学習への理解、習熟時間の確保、実態に応じた練習の工夫を進める。

○言語文化に関する取組の充実

- ・全校音読、群読は効果を検証しながら継続し、より効果的な方法を検討する。
- ・音楽の発表の機会を充実させる。
- ・図書の利用を進める方策を工夫し、図書室の本に親しむ機会を増やす。

○特別支援教育の推進

- ・サポート教室など学習支援体制を充実させる。
- ・支援スキルの OJT など研修の機会を充実させる。
- ・家庭・地域の理解促進を図る。
- ・家庭支援等について関係諸機関との連携を図るとともに、校内支援体制を整える。

○外部講師による授業の充実

- ・文化団体連盟、学校運営連絡協議会、おくとま地域振興財団、その他町外の諸機関等、外部講師の効果的な活用を図る。